PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

07-178249

(43) Date of publication of application: 18.07.1995

(51)Int.CI.

A63F 9/22 A63F 3/06

(21)Application number : 05-322645

(71)Applicant: TAITO CORP

(22)Date of filing:

21.12.1993

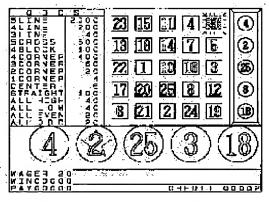
(72)Inventor: KUMAGAI HIDEO

KONDO HIDEAKI

(54) VIDEO TYPE BINGO GAME DEVICE

(57)Abstract:

PURPOSE: To advance a game in development different from that of a classic bingo game, to improve a rate of winning a prize, and to reduce a required time by displaying numerals in a specific range arranging them at random so as to match a cast numeral after a specific numeral is displayed on a cast numeral display device. CONSTITUTION: A device in which a player can bet the desires number of medals is provided. Also, the cast numeral display device which displays five numerals selected at random from the numerals 1-25 is provided. Furthermore, a bingo sheet display arranged in the squares of five rows/five columns and consisting of a display device which displays the numerals 1-25 in a slot reel type, respectively, and started after the cast numeral is displayed on the cast numeral display device, and arranging and displaying the numerals 1-25 at random on the squares is provided. A device which judges winning a prize when the numeral of the bingo sheet display matches that of the cast numeral display



device, and pays back the medals at magnification corresponding to the role. In other words, the game is advanced so as to match the cast numeral with the numerals 1-25 after five cast numerals are determined in advance.

LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

27.04.2000

[Date of sending the examiner's decision of

rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

3255780

[Date of registration]

30.11.2001

[Number of appeal against examiner's decision

of rejection]

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平7-178249

(43)公開日 平成7年(1995)7月18日

(51) Int.Cl. ⁸		識別記号	庁内整理番号	FI	技術表示箇所
A63F	9/22	M			
	3/06	В			

審査請求 未請求 請求項の数1 OL (全 11 頁)

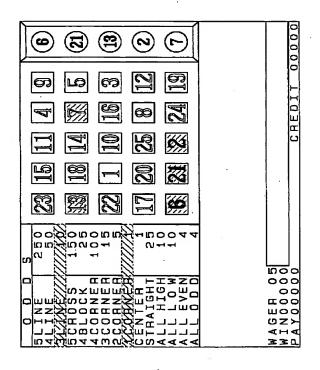
(21)出願番号	特顧平5-322645	(71)出願人	000132840 株式会社タイトー					
(22)出願日	平成5年(1993)12月21日		東京都千代田区平河町2丁目5番3号 タイトービルディング					
•		(72)発明者						
		(- / /	東京都千代田区平河町2丁目5番3号 夕					
			イトービルディング 株式会社タイトー内					
		(72)発明者	近藤 英明					
			東京都千代田区平河町2丁目5番3号 タ					
			イトービルディング 株式会社タイトー内					
		(74)代理人	弁理士 最上 正太郎					
•								

(54) 【発明の名称】 ビデオ式ビンゴゲーム装置

(57)【要約】

【目的】 業務上有利なビデオ式ビンゴゲーム装置を提供することにある。

【構成】 先に5個の出目を決定した後、ビンゴシートの25個のマス目に1ないし25の数字をランダムに配列表示させ、そのビンゴシート上の5個の出目の配置が予め定めた役のいずれかに合致しているときは入賞と認め、その役に応じたメダルを払い戻すよう構成したビデオ式ビンゴゲーム装置。



【特許請求の範囲】

【請求項1】プレイヤーが所望の枚数のメダルを賭ける ことができる装置と、

1ないし25の数字の中からランダムに選ばれた5個の 数字を表示する出目表示装置と、

5行5列のマス目に配置され、それぞれスロットリール 式に1ないし25の数字を表示する表示器から成り、出 目表示装置に出目が表示されてから起動され、上記マス 目に1ないし25の数字をランダムに配置表示するビン ゴシート表示器と、

ビンゴシート表示気に表示された1ないし25の数字の うち、出目表示装置に表示された数字の配列が所定の役 に合致したか否かを判定し、入賞があったときはその役 に応じた払戻倍率でメダルの払戻しを行う装置とを具備 したビデオ式ビンゴゲーム装置。

【発明の詳細な説明】

[0001]

【産業上の利用分野】本発明は、電子制御されるビデオ 式ビンゴゲーム装置に関する。

[0002]

【従来の技術】従来のビデオ式ビンゴゲーム装置は、予 め1ないし25の数字がランダムに配置された数種類の ビンゴシートからプレーヤーが任意のものを選択した 後、それらの数字から無作為に一つずつ出目を決定し、 選別したビンゴシートのマスの出目に対応する数字を順 々にマークしていき、マークされたマスが5並び(マー ク済のマスが直線状に5個並んだ状態)になった時点で そのプレーヤーが上がりとなり、5並びになったときの マークされたマスの個数によって入賞が決定され、所定 の倍率でメダルが払い戻されるものである。また、上が 30 は図1に示した装置の表示画面に映し出される映像に於 り役を5並びに限定せず、3並び程度から上がり役を設 けたものもあるが、従来公知のものは役が少なく、興趣 が持続しないという問題があった。

【0003】また、上記のような従来のビンゴゲーム装 置は、古典的なルールを踏襲しているため、斬新さに欠 けるという問題がある。また、全ての出目が決まる前 に、勝負を諦めざるを得ない場合も多く、ゲームに対す るプレーヤーの期待感が持続しないことが多いという問 題がある。

[0004]

【発明が解決しようとする課題】本発明は上記の問題点 を解決するためなされたものであり、その目的とすると ころは、斬新で、多種多様の役が設けられており入賞率 が高く、プレイヤーの期待感が持続するので、業務上有 利なビデオ式ビンゴゲーム装置を提供することにある。 [0005]

【課題を解決する手段】上記の目的は、先に5個の出目 を決定し、その後、ビンゴシート表示器の25個のマス 目に1ないし25の数字をランダムに配列表示させ、そ のビンゴシート上の5個の出目の配置が予め定めた役の 50 は、払い出されたメダルを受けるものである。

いずれかに合致しているときは入賞と認め、その役に応 じたメダルを払い戻すよう構成したビデオ式ビンゴゲー ム装置により構成される。

【0006】さらに具体的にいえば、本発明の叙上の目 的は、プレイヤーが所望の枚数のメダルを賭けることが できる装置と、1ないし25の数字の中からランダムに 選ばれた5個の数字を表示する出目表示装置と、5行5 列のマス目に配置され、それぞれスロットリール式に1 -ないし25の数字を表示する表示器から成り、出目表示 10 装置に出目が表示されてから起動され、上記マス目に1 ないし25の数字をランダムに配置表示するビンゴシー ト表示器と、ビンゴシート表示気に表示された1ないし 25の数字のうち、出目表示装置に表示された数字の配 列が所定の役に合致したか否かを判定し、入賞があった ときはその役に応じた払戻倍率でメダルの払戻しを行う 装置とを具備したビデオ式ビンゴゲーム装置によって解 決される。

[0007]

【作用】上記の如き構成であると、古典的なビンゴゲー ムとは異なった展開でゲームが進行し、上がり役を大幅 に増やすことができ、ゲームの所要時間が短くなるので ゲームの興趣が大いに増進するものである。

[0008]

【発明を実施するための最良の態様】以下、図面によ り、本発明の詳細を説明する。図1は本発明に係るビン ゴゲーム装置の一実施例を示す斜視図、図2は図1に示 した装置のコントロールパネルを示す平面図、図3は図 1に示した装置の制御処理系統を示すシステムブロック 図、図4は図1に示した装置の動作を示す流れ図、図5 いて、出玉抽出状態を示す平面図、図6はその全ての出 玉が揃った状態を示す平面図、図7はそのビンゴシート の数字の配列が決まっていく状態を示す平面図、図8は その入賞チェック状態を示す平面図、図9はダブルアッ プゲームに進んだ場合の表示画面を示す平面図、図10 は出玉にエキストラスポットボールが選ばれた場合の出 玉が揃った状態を示す平面図、図11はその入賞チェッ ク状態を示す平面図である。

【0009】先ず、図1について説明する。図中、1は 40 本体、10は本体1の正面上方に設けられた表示画面、 11は表示画面10の下方に設けられたコントロールバ ネル、12はコントロールパネル11の下方に設けられ たタイトルパネル、13はコントロールパネル12の下 方に設けられたメダル受皿である。

【0010】表示画面10は、ゲーム画像を表示するも のであり、CRTが使用される。コントロールパネル1 1には、ゲーム進行に必要な各種操作ボタン等が設けら れている。タイトルパネル12には、このゲーム機の名 称やゲーム方法などが記されている。メダル受皿13

【0011】次に、図2について説明する。図中、11 0はメダル投入口、111はスタートボタン、112は ワンベットボタン、113はデュアルベットボタン、1 14はダブルアップボタン、115はペイアウトボタン である。

【0012】メダル投入口110からは、ゲームに必要 なメダルが投入されるものである。ワンベットボタン1 12はメダルを賭けるときに使用されるもので、一回押 すとメダルの賭け枚数が1となり、その後は一回押すご とに一枚ずつその賭け枚数が増え、所望の枚数のメダル 10 を賭けた後、スタートボタン111が押されるとゲーム がスタートする。デュアルベットボタン113は、直前 のゲームで賭けたメダル数と同一の枚数を賭けるために 使用されるものであり、これを押すと、直前のゲームと 同じメダル数が賭けられ、自動的にゲームがスタートす

【0013】ダブルアップボタン114は、プレーヤー が入賞したときにダブルアップゲームを行う場合に使用 される。ペイアウトボタン115は、プレーヤーが獲得 したメダルを払い出す場合に使用される。

【0014】次に図3について説明する。図中、20は CPU、21はROM、22はRAM、23はCRTコ ントローラー、24は図1に示した表示画面10に使用 されるCRT、25はキャラクタージェネレーター、2 6はビデオRAM、27はプライオリティーコントロー ラー、28はカラーRAM、29はビデオ変調器、30 は入力ポート、31は投入メダル判別器、32はメダル ホッパー、33はメダル払出器、34は出力ポート、3 5はランプ駆動回路、36はホッパー駆動回路、37は カー、40はサウンド駆動回路である。

【0015】CPU20は各種演算処理を行い、入力信 号と出力信号の処理を行う。ROM21には、ゲーム全 体を制御するプログラム、文字、出目のデザインデータ などゲームに関連する各種データ、また、画像処理に関 するプログラムなどが各専用エリアにストアされてい る。RAM22には、ゲーム開始に先立って投入された メダルの枚数を記憶するメモリー、上がり役のパターン やメダルの払戻枚数などのデータを記憶するエリア、ビ ンゴシート表示部、出目表示部などの配置位置のメモリ 40 一及びいくつかの変数のエリアが割り当てられている。 【0016】CRTコントローラー23は、CPU20 の制御動作に対応して、ROM21内にストアされてい る文字、出目の画像データのうち、CRT24の画面上 に画像出しに必要な画像パターンデータを、キャラクタ ージェネレーター25 にストアとすると共に、ビデオR AM26には、前記CRT24の画面上のどこの位置へ どの画像を表示するかというオブジェクトコードをスト アする。

【0017】 CRTコントローラー23は、CPU20 50 ある。また、ダブルアップゲームした場合は、前回のダ

の制御動作に対応して、ビデオRAM26内の位置デー タに対応するキャラクタージェネレーター25にストア されている画像パターンデータをプライオリティコント ローラー27へ送る。このプライオリティコントローラ -27は、重なった画像のプライオリティを定め、そし て、カラー位置データをカラーRAM28へ送り、この カラーRAM28は画像の1ビットごとのカラーデータ をビデオ変調器29へ送る。

【0018】とのビデオ変調器29は、前記カラーRA M28より送られたパラレルのデジタルカラーデータ を、シリアルデータ及びアナログ信号に変換し、ビデオ 信号に同期させ、CRT24へ送り、所定の画像を表示 させる。入力ポート30には、投入されたメダルを検査 する投入メダル判別器31、コントロールパネル11及 びメダル払出器33などからの信号が入力する。

【0019】出力ポート34からは、コントロールパネ ル11に配置されたゲーム進行用操作ボタンをそれぞれ 点灯させる動作を行うランプ駆動回路35、メダル獲得 時所定の勝ち枚数のメダルを払い出すメダルホッパー3 2を駆動するホッパー駆動回路36、払出されたメダル のトータル枚数等を記録するカウンター37を駆動する カウンター駆動回路38、サウンド駆動回路40などへ 制御信号が送られる。

【0020】次に、図4を参照してゲームの流れを説明 する。このゲーム装置では、ゲームが行われていないと きには、表示画面10にデモ映像が表示される。プレー ヤーはデモ画面が表示されているときには随時メダルを 投入することができる。この装置に、プレーヤーがメダ ルを投入し、ベットボタンでメダルの賭け枚数を定め、 カウンター、38はカンウター駆動回路、39はスピー 30 ゲームをスタートさせると、ナンバリングされた25個 のビンゴボールから5個の出玉がランダムに抽出され、 順次表示画面10に表示される。総ての出玉が表示され た後、後に説明するようにして、ビンゴシート上の数字 の配列が決定され、その数字の配置が決まると直ちに入 賞か否かがチェックされる。

> 【0021】入賞しなかったときは、そこでゲームは終 了し、デモ映像に戻る。入賞した場合は、その時点で払 戻又はダブルアップゲームのいずれかを選択する。払戻 を選択した場合、プレーヤーは入賞に応じた枚数のメダ ルを獲得し、ゲーム終了となる。ダブルアップゲームと は、勝ちメダルを元手とし、それを2倍に増やすことが できるゲームであるが、失敗すると賭けたメダル総てを 失うものである。ダブルアップゲームを選択し、負けた 場合はそのゲームでの獲得メダル枚数は無くなり、ゲー ム終了となる。

> 【0022】一方、勝った場合、この時点で払戻又はダ ブルアップゲームのいずれかを選択する。払戻を選択す ると、その時点でゲームは終了し、プレーヤーはビンゴ ゲームで獲得した枚数の2倍のメダルを獲得するもので

1.0

示される。

ブルアップゲームでの勝ちメダルを元手とし、前述と同 様にダブルアップゲームが進められる。このダブルアッ ブゲームは、勝ち続けることができれば、そのゲームで の獲得メダル枚数が所定の限界値に達するまで繰り返す ことができる。

【0023】以下、図5を参照しながら上記の装置の使 用方法を説明する。このビンゴゲーム装置は、ゲームに 使用されているとき以外は、その画面にはデモ映像が表 示されている。このデモ映像ではこの装置で行われるビ ンゴゲームが自動的に進行している。

【0024】この装置の表示画面は、図5に示されるよ うに、上層の左側に上がり役に対する配当を示すODD Sの欄が、その中央に縦横とも5列計25マスのビンゴ シートの欄が、その右側に抽出された出玉を小さく表示 する欄が設けられ、中層にはナンバリングされた25個 のビンゴボールから抽出されてくる5個の出玉を表示す る欄が設けられ、下層の左側に賭け枚数を示すWAGE Rの欄、前ゲームで勝ち取ったメダルの勝ち枚数を示す WINの欄及び払戻枚数を示すPAYの欄が、下方右側 にゲームに使用し得るメダル枚数を示すCREDITの 20 欄が設けられる。

【0025】プレーヤーがメダルをメダル投入口から投 入すると、投入枚数がCREDITの欄に表示される。 このとき、ビンゴシートには前ゲームの数字が配置され ている。次に、プレーヤーはワンベットボタンを押して 任意の枚数のメダルを賭ける。このとき、賭け枚数は₩ AGERの欄に表示されるが、WAGERの欄に表示さ れた枚数が増大するに従い、CREDITの欄に表示さ れたメダル枚数は減少する。次に、プレーヤーは、スタ ートボタンを押してゲームを開始させるが、賭け枚数 が、予め設定された最大賭け枚数 (MAX BET) の 20枚に達した場合はスタートボタンを押さなくても自 動的にゲームは開始される。

【0026】ゲームが開始されると、図5に示されるよ うに、画面中層のビンゴボールの出玉を表示する欄に、 1ないし25の数字が記された25個のビンゴボールの 中から、無作為に抽出された5個の出玉が画面右側から 転がってきて表示される。そして、出玉が決定するに従 い、画面上段右側の出玉を小さく表示する欄にも転がっ てきた出玉と同じ出玉が順に表示される。次に、全ての 40 出玉が表示され、出目が決まると、図6に示されるよう に、画面上層中央のビンゴシートの欄に表示された数字 はそれぞれスロットリールのように回転し、図7に示さ れるように、一定時間回転した後に自動的に右上から順 次一定の順序でビンゴシート上に同じ数字がでないよう ランダムに数字を選びつつ停止してゆき、ビンゴシート のマスが1ないし25の数字で埋められる。

【0027】ビンゴシートの数字が、出目と一致したと きは、その数字が表示されているマスがハイライト表示 され、同時に、中層に表示されたその数字を示す出玉は 50 トボールとなったビンゴボールには、図10に示される

消滅する。また、ビンゴシート上で次に数字が決定され るマスが、上がり役のリーチ目となっているときには、 そのスロットリールの停止の仕方が他のときとは異な り、例えばゆっくり停止するようになっている。ビンゴ シート上に全ての数字が表示され、その配置が決定する と、入賞のチェックが始まる。図8に示されるように、 マークされたマスが後で説明する上がり役のパターンに 該当した場合、そのマスに配置された数字と、ODDS の欄の該当する上がり役の行がハイライト表紙される。 【0028】上がり役があった場合は、プレーヤーには その上がり役と賭けているメダル数に応じた枚数のメダ ルが勝ち枚数として配当される。プレーヤーはこの時点 でゲームを終了して勝ち枚数を受け取ってもよいが、そ の勝ち枚数を元手にダブルアップゲームを選択すること もできる。ゲームを終了させるには、ペイアウトボタン を押せばよく、そうするとこの勝ち枚数がWⅠNの欄に 表示され、その枚数がCREDITの欄に加算されて表

【0029】ダブルアップゲームをするには、ダブルア ップボタンを押せばよく、そうすると、画面が、図9の ように切り替わる。この画面では、LOSEと×2が交 互に記された回転リールが回転した状態で表示され、そ の回転リールの下方にはダブルアップゲームに勝ったと きに獲得し得るメダル枚数を示す大きなWINの欄が設 けられる。この回転リールの回転は、一定時間経過後自 動的に止まるが、プレーヤーがダブルアップボタンを押 して止めることもできる。

【0030】回転リールが×2を中央に表示して停止す ると、プレーヤーはビンゴゲームの勝ち枚数の2倍の枚 30 数のメダルを獲得できるが、LOSEで停止するとダブ ルアップゲームに賭けたメダルを全て失うことになる。 ダブルアップゲームで2倍のメダルを獲得したプレーヤ ーは、再びダブルアップボタンを押すことにより、その 獲得したメダルで更に続けてメダルの獲得枚数が最大1 万枚を越えない範囲で何回もダブルアップゲームを行う ことができる。ダブルアップゲームを終了させるとき は、ペイアウトボタンを押せばよく、そうすると獲得し たメダルの枚数が画面左下のWINの欄に表示され、そ の枚数がCREDITの欄に加算されて表示される。

【0031】プレーヤーが続けてビンゴゲームを行うと きは、上記の手順を繰り返せばよいが、ゲームを終了す るときにペイアウトボタンを押さずに直接ワンベットボ タン又はデュアルベットボタンを押しても次のゲームに 進むことができる。このとき、デュアルベットボタンを 押すと、前ゲームと同じ枚数が賭けられると共に、ゲー ムが自動的にスタートするものである。

【0032】また、上記装置に於いては、1ゲームごと に25個のビンゴボールの中から一つエキストラスポッ トボールが無作為に設定される。このエキストラスポッ ように、スターマークがデザインされている。このボールが出玉として選ばれると、ビンゴシートの数字がスロットリールのように回転する前に、そのシートの1マスがランダムに選択され、そのマスは上がり役がチェックされるまで点灯し続ける。なお、このとき選択されるのは、特定の位置にあるマスであり、そのマスに表示されている数字ではない。ビンゴシートの数字の配置が決定し、図11に示されるように、入賞がチェックされるが、このとき、エキストラスポットとして点灯しているマスは、出目としてマークされたマスと同じ効力を有す 10るのでプレーヤーは非常に有利となる。

【0033】なお、ゲーム中、コントロールパネルに設けられた各種ボタンは、ゲームの進行に応じて有効に機能するものが点灯し、ブレーヤーの操作を補助するようになっており、また、ゲーム進行時は、通常スピーカーからBGMが流されており、上がり役が成立したとき、高配当の上がり役が成立したとき、エキストラスポットボールが出現したとき、ダブルアップゲームで勝ったとき、及び一度に50枚以上の払出がなされるときにはそれぞれ異なったファンファーレが流される。

【0034】以下、上記ピンゴゲームの上がり役について説明する。この上がり役は、ピンゴシートに関する役及び出目に関する役の2種類に大別される。ビンゴシートに関する役とは、出目に対応してマークされたビンゴシートの数字の並び方によって決まる上がり役である。【0035】上記ゲーム気に於ける上がり役のパターンは以下の通りである。

5LINE・・・・・マークされたマスが、縦横斜めのいずれか1列に5個並んだ場合。

4 L I N E ・・・・・マークされたマスのうち、4 個が 30 縦横一列又は対角線上に並んだ場合。

3 L I N E・・・・・マークされたマスのうち、3 個が 縦横一列又は対角線上に並んだ場合。

4 B L O C K・・・・マークされたマスのうち、4 個が 縦横2行2列に隣接してブロック状に配置された場合。 5 CROSS・・・・マークされたマス5 個のうち1 個が、ビンゴシートの中央に位置し、残りの4 個がその数字を中心として上下左右に十字状に隣接しているか、又は、斜め上下にX字状に隣接して配置された場合。

【0036】4CORNER・・・マークされたマスのうち、4個がビンゴシートの全コーナーを占めた場合。 3CORNER・・・マークされたマスのうち、3個がビンゴシートのコーナー4か所のうち、3か所を占めた場合。

10 2 C O R N E R・・・マークされたマスのうち、2 個が ビンゴシートのコーナー4 か所のうち、2 か所を占めた 場合。

1CORNER・・・マークされたマスのうち、1個が ビンゴシートのコーナー4か所のうち、1か所を占めた 場合。

CENTER・・・・マークされたマスのうち、1個がビンゴシートの中央を占めた場合。

【0037】一方、出玉に関する役とは、マークされたマスの配列に係わらず、出玉の数字の種類によって決ま 3上がり役である。この上がり役のパターンは以下の通りである。

STRAIGHT・・出玉の数字5個全てが連続した場合。

ALL HIGH・・出玉の数字5個が全て14以上である場合。

ALL LOW・・・出玉の数字5個が全て12以下である場合。

ALL EVEN・・出玉の数字5個が全て偶数である場合。

30 ALL ODD・・・出玉の数字5個が全て奇数である 場合。

上記上がり役に対応する配当表は表1に示した。

[0038]

【表1】

вет	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	l6	17	18	19	20
5 LINE	50	100	150	200	250	300	350	400	450	500	550	600	650	700	750	800	850	900	950	2000
4 LINE	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100	110	120	130	140	150	160	170	180	190	200
3 LINE	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24	26	28	30	32	34	36	38	40
5 CROSS	30	60	90	120	150	180	210	240	270	300	330	360	390	420	450	480	510	540	570	600
4 BLOCK	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	85	90	9,5	100
4 CORNER	20	40	60	80	100	120	140	160	180	200	220	240	260	2B0	300	320	340	360	380	400
3 CORNER	3	6	9	12	15	18	21	24	27	30	33	36	39	42	45	48	51	54	57	60
2 CORNER	1	· 2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
1 CORNER	0	0	0	0	1	1	1	1	1	2	Z	2	2	2	3	3	3	3	3	4
CENTER	0	٥	0	1	1	1	2	2	2	3	3	3	3	4	4	4	5	5	5	6
STRAIGHT	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	100
ALL HICH	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24	26	23	30	32	34	36	38	40
ALL LOW	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24	26	28	30	32	34	36	38	40
ALL EVEN	ı	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	. 15	16	17	18	19	20
ALL ODD	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	18	17	18	19	20

この配当表は、このビンゴゲーム装置の表示画面中左上のODDSの欄に表示される。また、これらの上がり役が重複した場合、原則として、最終的なビンゴゲームの勝ち枚数は全ての上がり役に応じた勝ち枚数を足したも 20 のとなる。

【0039】例えば、図8に示したゲームの上がり役は、「6、21、2」の3LINEと「6」の1CORNERであり、このゲームにプレーヤーは5枚のメダルを賭けているので、プレーヤーのメダル獲得枚数は3LINEの10枚と1CORNERの1枚を足した計11枚となる。なお、5CROSSとCENTERは重複して成立するものであるため、5CROSSが成立したときは、同時にCNTERも成立している。

【0040】以下、重複して入賞できない上がり役の組 30 合せを示す。

- (1) 5LINE中の4LINE及び3LINE
- (2) 4LINE中の3LINE
- (3) 5CROSS中の3LINE
- (4) 4 CORNER中の3 CORNER、2 CORNER及び1 CORNER
- (5)3CORNER中の2CORNER及び1COR NER
- (6) 2CORNER中の1CORNER

【0041】なお、エキストラスポットが入賞に絡む場 40合、上記許されない組合せ方以外の組合せ、例えば、5 CROSSと4LINEの組合せは有効である。例えば、図11に示したゲームの上がり役は、「1、25、18、4」の4LINEと、「2、25、18、4、3」の5CROSSと、「1」の1CORNERと、「18」のCENTERであり、このゲームにプレーヤーは20枚のメダルを賭けているので、プレーヤーのメダル獲得枚数は計810枚となる。

【0042】なお、本発明は叙上の実施例に限定されるものではなく、例えば、ゲーム機本体の形状は縦型に限 50

定されず、テーブルタイプのものでもよく、コントロールパネルに設けられる各種ボタンの配置は変更してもよく、デュアルベットボタンに代えて一度に最高限度枚数を賭けることができるマックスベットボタンを設けてもよい。

【0043】また、上がり役が出玉に関するものである場合は、ビンゴシートの数字が回転する前にその上がり役が決まった時点でその上がり役に該当するODDSの欄の行をハイライト表示してもよい。さらに、エキストラスポットボールのマークは、星印でなくてもよく、また、本体、表示画面、コントロールパネルに設けられた各種ボタン及び画面に表示されるビンゴシートやビンゴボール等の形状等は、本発明の目的の範囲内で自由に設計変更し得るものであり、本発明は、上記の説明から当業者が容易に想到し得る総ての変更実施例を包摂するものである。

[0044]

【発明の効果】本発明に係るビデオ式ビンゴゲーム装置は叙上の如く構成されるので、本発明によるときは、古典的なビンゴゲームとはそのゲーム展開が異なるため、プレーヤーが新鮮な気持ちでゲームに望むことができ、上がり役の種類が多く、入賞の確率が高く、ビンゴシート上の数字が決まる度にプレーヤーの期待感が高まり、その期待感がゲーム終了間際まで継続しするので興趣の高い新規なゲーム機を提供し得るものである。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係るビデオ式ビンゴゲーム装置の一実施例を示す斜視図である。

【図2】図1に示した装置のコントロールバネルを示す 平面図である。

【図3】図1に示した装置の制御処理系統を示すシステムブロック図である。

【図4】図1に示した装置の動作を示す流れ図である。

【図5】図1に示した装置の表示画面に映し出される映

11

像に於いて、出玉抽出状態を示す平面図である。

【図6】その全ての出玉が揃った状態を示す平面図である。

【図7】そのビンゴシートの数字の配列が決まっていく 状態を示す平面図である。

【図8】その入賞チェック状態を示す平面図である。

【図9】ダブルアップゲームに進んだ場合の表示画面を 示す平面図である。

【図10】出玉にエキストラスポットボールが選ばれた 場合の出玉が揃った状態を示す平面図である。

【図11】その入賞チェック状態を示す平面図である。 【符号の説明】

1 · · · · · · 本体

10・・・・・表示画面

11・・・・・・コントロールパネル

110・・・・・メダル投入口

111・・・・・スタートボタン

112・・・・・ワンベットボタン

113・・・・・デュアルベットボタン

114・・・・・・ダブルアップボタン

115・・・・・ペイアウトボタン

12・・・・・・タイトルパネル

*13・・・・・メダル受皿

20 · · · · · · CPU

21 · · · · · · ROM 22 · · · · · · RAM

23·····CRTコントローラー

 $24 \cdot \cdot \cdot \cdot \cdot CRT$

25・・・・・・キャラクタージェネレーター

26・・・・・・ビデオRAM

27・・・・・・プライオリティーコントローラー

10 28·····カラーRAM

29・・・・・・ビデオ変調器

30・・・・・入力ポート

31・・・・・・投入メダル判別器

32・・・・・・メダルホッパー

33・・・・・メダル払出器

34・・・・・・出力ポート

35・・・・・・ランプ駆動回路

36・・・・・・ホッパー駆動回路

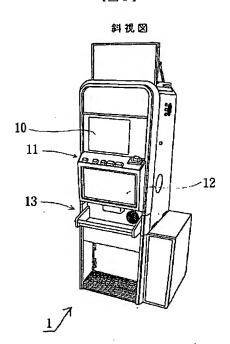
37・・・・・・カウンター

20 38・・・・・・カンウター駆動回路

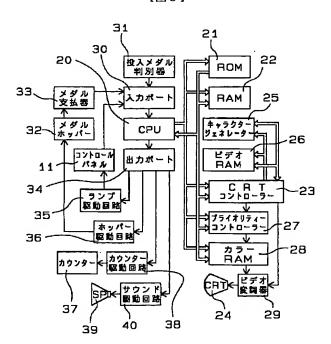
39・・・・・・スピーカー

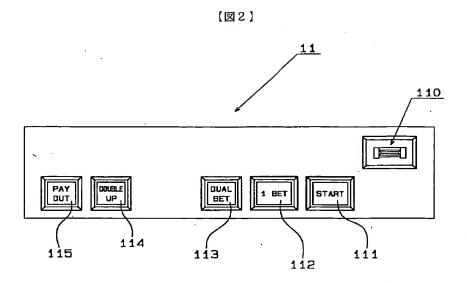
* 40・・・・・・サウンド駆動回路

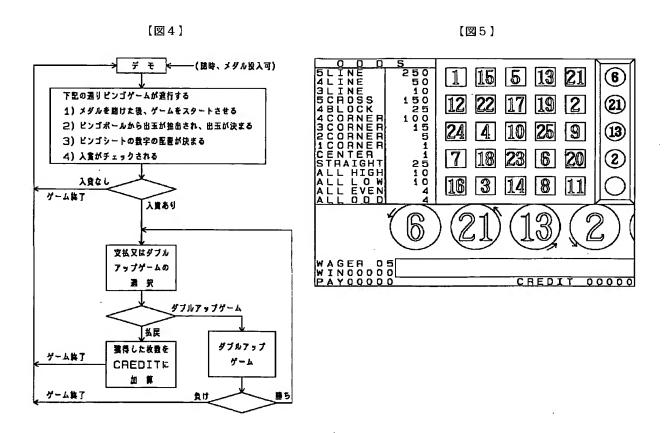
【図1】



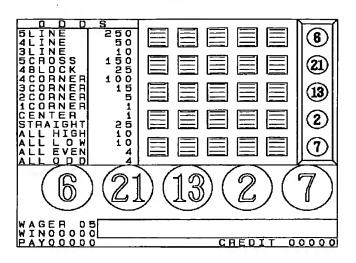
【図3】



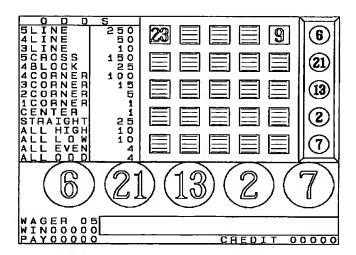




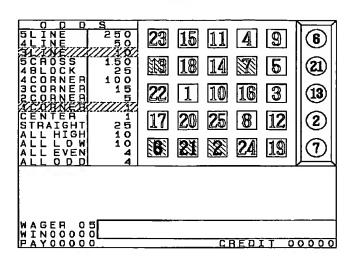
【図6】



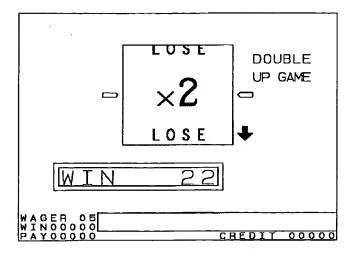
[図7]



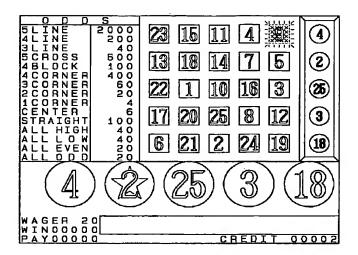
【図8】



【図9】



【図10】



【図11】

